

平庭に産業、観光の拠点 葛巻高原食品センター、森の館ウッディ

コミュニケーションホールで行われた落成式で式辞を述べる鈴木輝雄町長



町が平庭高原に昭和61年から工事を進めていた「葛巻高原食品センター」とモデル木造施設「森の館ウッディ」が完成し、平成元年10月9日落成式を行い、地場産業と観光の拠点となる新しい施設の完成を祝いました。

葛巻高原食品センターは、山ブドウ、山菜などの町の特産品を原料にした特産品づくりと産業振興の期待を担い昭和61年度着工から3年、3億2,084万円の事業費が投入されました。森の館ウッディは、昭和63年度着工し、平成元年3月に完成しました。

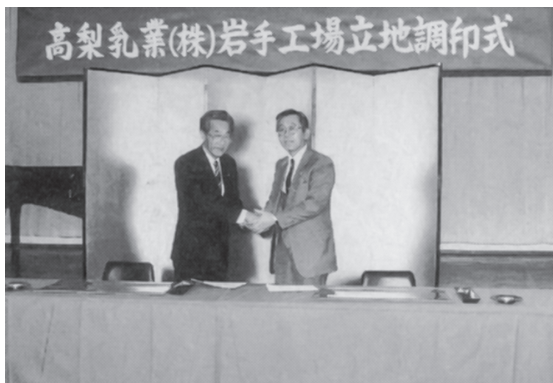
高梨乳業が葛巻に進出 協定書を交換

町に乳製品の大手メーカー、高梨乳業(株)(本社横浜市)の進出が決まり、平成元年12月25日、総合センターで立地協定調印式が行われました。

調印式には、鈴木輝雄町長、土谷育造議会議長、高梨昌芳社長、中村武県企業立地課長、鈴木七郎県経済連常務理事ら30人が出席。鈴木町長と高梨社長が協定書を交換しました。

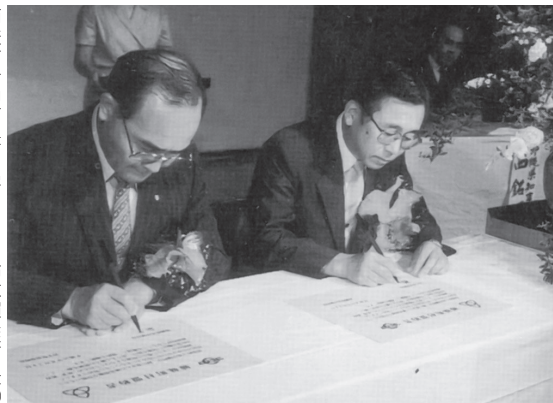
県経済連と町、町農協が2年間にわたり誘致のための交渉を進め実現したもので、「酪農の里・葛巻」の名を高め酪農家の所得アップと若者の定着に役立つものと期待されます。

調印後、固い握手を交わす高梨昌芳社長と鈴木輝雄町長



沖縄県北中城村と姉妹都市に 4年間の交流実り調印

姉妹町村盟約書に署名する鈴木輝雄町長と安里高治村長



沖縄県北中城村と平成元年8月24日午後3時から同村公民館ホールで姉妹町村の調印を結びました。

調印式には、両町村関係者約250人が見守るなか鈴木輝雄町長、安里高治村長が署名し、末長い友好を誓いました。両町村長が「交流は上原清善さんの橋渡しで、スポーツ交流などで相互に理解を深めてきました。さらに、親善と友情をはぐくみ、限りない発展をしよう」と、あいさつしました。調印後、同公民館前に北中城村の村木「リュウキュウコクタン」を記念植樹しました。

学童県大会 タイガース千厩下し初優勝

平成元年7月9日岩手町で開かれた第9回全日本学童軟式野球県大会で県Aブロック代表の葛巻タイガースは堂々の初優勝を飾りました。試合は、全国大会の出場権をかけ、各ブロックを勝ち抜いた4チームでトーナメント戦が行われました。1回戦清水ヶ丘スポーツ少年団(和賀郡)と対戦し12対7で快勝した葛巻タイガースは、決勝で昨年度優勝の千厩少年野球団(東磐井郡)を11対2と大勝し、念願の全国大会出場です。昨年も決勝戦は同じ顔合わせで、惜しくも準優勝に甘んじ、今年雪辱を果たしました。

優勝旗を手にし、全国大会を喜ぶ葛巻タイガース(右手町野球場)



64年の校史閉じる 「赤い屋根」の毛頭沢分校

毛頭沢分校の「閉校式・惜別の会」の様子



冬部小学校毛頭沢分校の閉校式は平成元年3月31日、同校で地区民や在校生、歴代教職員ら約60人が出席して、64年間ともにしてきた学校教育の灯を静かに閉じました。

同校は町中心部から20キロ、本校から6キロ離れた3級へき地校で、大正13年6月家庭教習所として開校以来、273人の卒業生が巣立っています。昭和52年には松竹映画「イーハトーブの赤い屋根」の撮影地となった分校です。閉校の年には入学生がなく、2人が学ぶだけでした。

競技・照明施設など充実 小屋瀬小・中の体育館完成

昭和63年8月から工事が進められていた小屋瀬小中学校体育館が、平成元年1月31日に完成し、同年2月28日に同体育館で学区民ら200人が出席して新築を祝いました。

体育館は、鉄骨平屋建て731平方メートルで総工事費1億1,200万円。2階には児童たちが描いたスタンドグラスがあります。バスケットボール1面などの競技施設やステージ、照明施設が充実しています。式で中橋江美子ちゃん(6年)が「大切に使い立派な人間になります」と、誓いました。

小屋瀬小中学校体育館の新築を祝う児童や地域の人々



令和元年に振り返る 平成元年のまちの出来事

新天皇即位の日の2019年5月1日、元号が「平成」から「令和」に変わりました。およそ30年前の「平成元年」。当時の広報くずまきから、まちの出来事を振り返ります。
※タイトルや文面は掲載当時のままを基本に再現しています。